

ごみを減らす・分別を徹底する

地球環境を守るためには、ごみの量を減らし、分別を徹底して、限りある資源をできるだけ循環させていかなければなりません。具体的な活動として神奈川県青年部会では、

「横浜開港祭支援ボランティア活動」を実行しSDGs 11, 12, 13, 14, 17
に取組ました。

神奈川県青年部が取り組んでいる「横浜開港祭支援ボランティア活動」とは、毎年、80 万人がみなとみらい地区に来場し、横浜の開港記念日をお祝いする開港祭（市民祭）における社会貢献活動です。この開港祭では、数多くのキッチンカー等が出そろうため、ペットボトルやお弁当などの回収場所として「エコステーション」を 14 箇所設置し、廃棄物の分別回収を推進しているところです。

「優しさつくる新たな挑戦」として、環境に配慮し、2050 年のゼロカーボンシティ実現に努めるべく、「身近なところから、できることを」のスローガンの下、来場者の方に廃棄物の分別の大切さを知っていただくとともに、協会が取り組んでいる環境問題等への取組や資源の再利用を推進する取組など、広報活動にも積極的に取り組むことによって、協会の認知度を高めることにも努めました。

分別作業後の会場では、山と積まれた廃棄物の回収と分別が夜を徹して続けられました。青年部会のこの取組の積み重ねが大切であると思いつつ、活動を終わりにしたところです。



『have a great time 楽しい時間を過ごす 一致団結』

by 神奈川県 RCK 青年部

